

# ★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

261号

★ 2023年9月25日



常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

## — 都心低空飛行問題について —

### ○ 羽田訴訟

10月24日(火) 14時～

東京地裁 103号大法廷

原告適格、処分性(新ルート運用のための行政行為)の総括的意見陳述を予定しています。

大法廷なので大勢の方の関心を示す必要があります。普段あまり外に出られない方も常盤台の上空を定期航路とすることに反対の方は是非ご参加ください。

### ○ はとバスの無神経さ

「朝日新聞」7月31日の夕刊に「飛行機の迫力間近に体感 はとバス、羽田制限区域内のコース人気」という見だしで、羽田空港で離着陸する航空機を至近距離から見る事ができるバスコースを紹介していました。こういう迫力や危機感を楽しみたい人はセントマーティン島のマホビーチに行ってください。都民はそんな趣味もないのに低空飛行の恐怖を味あわされているのです。はとバスには抗議の電話をしておきました。

### ○ 街路樹に釘

9月23・24日は数年ぶりの天祖神社のお祭りがあり、南常盤台の通りは通行止めになって御神輿が数台出る賑やかさでした。

1・2丁目町会の前に寄付者の掲示板が立てられたのですが、プラタナスの幹に釘で打ち付けられていたのです。故S町会長はもう今後は決してしないと約束してくれたのにとWさんは残念がっていました。今の町会長さんは寝耳に水といった様子だったので、伝達がうまく行われていなかったのでしょう。

### ○ 常盤台駅前の東武ストア跡地は

現在駐車場となっている駅前の東武ストアの跡地は6階建てのマンションとなる模様。

1階はコンビニとドラッグストアということです。2階以上のマンションは分譲では無くすべて賃貸。何十年後かの建て替えを考えれば妥当かもしれません。スタバやミスドなど、幾つか地元からの希望が入らなかったのは残念でしたが、常盤台景観ガイドラインを遵守して6階にしたのはさすが常盤台そのものを計画・分譲した当該会社と評価されます。

### ○ 明海大不動産学科の空き家調査

劉一辰さん引率の明海大学不動産学科の学生4人が7月8日(土)常盤台を訪れました。宅検受験の準備に追われて研究の時間が取りにくいそうですが、都市計画に興味のある人や空き家を研究テーマにする学生もいるそうです。

分譲当時の建築の見学をし、空き家らしく見える所を廻りましたが、空き家の定義が難しく、何ヶ月かかけないと認定できないとか。今後どのような結論を出すのか知りたいと思いました。

### ○ 「まちづくりニュース」

7・8月配布を延期

酷暑での配布等を避けて

今夏の異常な暑さには、熱中症や体調の危機を感じます。この「まちづくりニュース」も配布に協力下さっている方々には高齢者も多いので、7月の発行は延期しました。8月も似たような気温が続いたので結局9月発行となりましたが、配布は涼しくなった時間帯を選んでいただきます。宜しくお願いします。



## ツミ出現

ベランダの窓ガラスに突然ぶつかって来た一羽の鳥、周りではオナガが数羽騒いでいます。見ると小柄なハトほどの大きさながら鋭い目つきと尖ったくちばし、胸の斑紋からツミだ！と直感しました。脳震とうを起こした様子はなく、暫くしてベランダから近くの電線に飛び移ると、オナガたちが急降下を繰り返して攻撃します。我慢できずに飛び去って行きました。

多分、どの鳥も雛の巣立ちの季節なので、無防備な雛を狙う肉食鳥と、雛を守ろうとする親鳥との戦いがあったのでしよう。ツミも自分の巣には可愛い雛たちが待っているのでしょう。

ツミは雀鷹と書くことでも解りますが、ワシタカの類で最小の鳥です。餌とするのは小鳥や昆虫、時として自分より大きいドバトなども襲うそうです。数年前、公園で見たことがありますが、最近では板橋区のような市街地でも営巣が確認されているとか。

被害を受けたのはオナガですが、何となくツミの方を応援したくなかったのは「鷹を継ぐもの」というTV番組のせいかも知れません。鷹匠の伝統を継ぐとする女子高校生とその腕に据えられた鷹の凜々しいこと！彼らの狩り場とする月山の雪山のように、貧しさなど問題にもしない潔い生き方に感動します。

ツミにしるカワセミにしる、自然界の生物が都会に進出したのは自然が回帰したわけではなく、やむを得ず彼らが都会に適応してきただけなのです。

## ときわ台景観ガイドラインの補強に向けて

最近しやれ街協議会と協議する業者・建設会社が、ときわ台景観ガイドラインに基づく協議を無視して強引に取り決めに反する建築を進める件が出てきました。

周囲の人達の反対を押し切って強行する例が出てきたことに危機感を覚えたしやれ街協議会では、ガイドラインを強化しようとしています。

ガイドライン成立時に地権者・土地・借地権者のそれぞれ3分の2の賛成を得ねばならないという厳しい条件のもと、常盤台のような何千もの人が住んでいる住宅地では困難を極めた作業でした。かろうじて成立されたガイドラインとしやれ街協議会の活動で、常盤台がまだ板橋区内の良好な住宅地として憧れの的であり続けていることは有難いことです。

ガイドラインは板橋区という土地柄もあり、田園調布や成城学園の世田谷区とは違い、緩やかな規制になっていますが、それでも利潤追求しかない事業者や地権者には目の上のたんこぶ的存在なのでしょう。

最近、ガイドラインの違反建築に対し、周囲の人達が建設反対の声を上げ始めたことに救いを覚えます。反対ののぼり旗がはためいている所もあります。常盤台のよい環境を求めて引っ越してきたのですから、環境悪化になる違反建築には我慢できないのも当然です。

## 常盤台公園のはなづくり

マーマレードとチューリップの循環はいつから始まったか定かではありませんが、変わらず無償で提供して下さったAさんの御厚意がなければこんなに順調には続かなかったと感謝のみです。

そのAさんの家が改築することになり、いつも鈴なりに大きな実を付けてくれた夏みかんの木も伐採されることになりました。

一度は移植も考え、移植先にも了解を得たのですが、費用がかさみ根付くとも限らないので諦めました。

これでチューリップとの循環は断たれることになるか、と思いましたが、はなづくりの会のマーマレードは純粋常盤台産の無農薬・無添加のもので、リピーターも多く、自慢できる味なので、作るのは年々しんどくなっていますが、もう少し頑張ることになりました。

ついでにはAさんに代わって無農薬の庭木の夏みかんを七〇個ほど提供してくださるお家はないでしょうか。多くのお宅では沢山夏みかんやハッサクが実っても、冬の景色として楽しんでいただけのように見受けられます。どうか公園のチューリップに変えて皆が楽しめるようご協力下さい。宜しくお願い致します。

